

放課後等デイサービス

事業所名

すてっぷあっぷ/emishia/Rumiria

支援プログラム

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		◎子ども、保護者、支援者の笑顔大切にしたい優しい会社 ◎子どもたちと未来を創る	◎福祉で「笑顔」を届ける ◎子どもたちの最善の利益を大切に、一人ひとりの個性を尊重する
支援方針		◎児童福祉法、その他関係法令に則り、障害児及び障害児の保護者の立場に立った適切なサービスの提供を行う	
営業時間		9 時 00 分から 17 時 00 分まで 11 時 30 分	送迎実施の有無 あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	【健康状態の維持、改善/生活リズムや生活習慣の形成/基本的な生活スキルの習得】 日々の健康観察、体温測定、手洗いうがい等の感染症予防/食事、排泄、更衣、整容等の基本的な生活習慣の定着支援/生活リズムの安定や身辺自立に向け、年齢や発達段階に応じた支援/食事マナー、偏食支援、衣類調整、持ち物管理、整理整頓、金銭感覚、時間意識等についても日常生活の中で繰り返し経験を積み、自立に向けた力を育てる。 必要に応じて視覚支援や構造化を行い、一人ひとりが見通しを持って安心して生活できる環境調整を行う。	
	運動・感覚	【姿勢と運動、動作の向上/保有する感覚の総合的な活動】 粗大運動、微細運動、感覚遊び等を通じて、身体機能や感覚機能の発達を支援/トランポリン、ボール運動、サーキット活動、縄跳び、公園活動、制作活動、感覚遊び等を取り入れ、身体の使い方、バランス感覚、姿勢保持、力加減、協調運動等の向上を図る/感覚特性による不安や過敏さに配慮し、刺激量や環境調整を行いながら安心して活動参加できるよう支援する。楽しみながら成功体験を積み重ねることで、活動参加意欲や自己肯定感の向上に繋げる。	
	認知・行動	【認知の発達と行動の習得/空間、時間、数等の概念形成の習得/対象や外部環境の適切な認知と行動の習得】 スケジュール確認や見通し理解、時間、順番、ルール理解等を通じて、日常生活に必要な認知機能の発達を支援する/気持ちの整理、感情コントロール、切り替え練習、問題解決支援、行動整理支援等を行い、自分で考えて行動する力を育てる/SSTや集団活動を通じて、相手の気持ちを理解する力、状況に応じた行動調整、適切な自己表現や相談行動の習得支援/認知特性やこだわり、思い込み等に配慮しながら、一人ひとりに合った支援方法を検討し、安心して生活できる環境づくりを行う。	
	言語 コミュニケーション	【言語の形成と活用/言語の受容及び表出/コミュニケーション能力の向上】 挨拶、返事、会話のやり取り、相手への気持ちを伝える練習等を通じて、コミュニケーション能力の向上を支援/自分の思いや要求を適切に表現する力、相手の話を聞き理解する力、場面に応じた言葉使い等を育てる/必要に応じて視覚支援、絵カード、ICT機器等も活用し、一人ひとりの特性に応じたコミュニケーション方法の獲得を支援/集団活動や日常場面の中で、他者とのやり取りを積み重ね、対人関係の基礎作りを行う。	
	人間関係 社会性	【他者との関わりの形成/自己理解と行動調整/仲間づくりと集団への参加】 遊びや集団活動を通じて、他者との関わり方、ルール、順番、役割理解、協力すること等を学び、社会性の発達を支援する/自分と相手の気持ちの違いを理解し、適切な距離感や関わり方をみにつけられるよう支援/集団参加に不安がある児童に対しては安心して生活できる環境調整や個別支援を行い、段階的な参加へ繋げる/成功体験や役割経験を積み重ねることで、自信や自己肯定感を育み、地域や社会の中で安心して生活できる力を育てる。	
家族支援	保護者との定期的な情報共有や相談支援を行い、家庭と連携しながら一貫した支援を実施する。日々の様子や成長、課題等について共有し、家庭での困りごとや不安に対して助言、提案を行う。また関わり方や環境調整について一緒に検討し、必要に応じて関係機関とも連携し、家庭全体を含めた支援体制の構築を行う。	移行支援	学校、相談支援事業所、関係機関等と連携し、ライフステージの変化に応じた切れ目のない支援を行う。進級、進学、進路の変更等の環境変化に対して、事前に情報共有や環境調整を大k内、安心して新しい環境へ移行できるように支援する。また、本人の特性や支援方法について関係機関と共有し、一貫した支援に繋げる。
地域支援・地域連携	学校、相談支援事業所、医療機関、行政、他事業所等の関係機関と連携し、地域全体で児童を支える支援体制づくりを行う。情報共有やケース会議等を通じて支援方法の統一を図り、一人ひとりに応じた適切な支援に繋げる。地域との関わりや社会参加の機械を広げられるよう支援する。	職員の質の向上	児童一人ひとりの特性に応じた適切な支援を行うため、定期的な社内研修や外部研修への参加を実施する。療育、障害特性理解、虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策、安全管理、コミュニケーション支援等について継続的に学び、専門性の向上に努める。また職員間で統一した支援を実施できる体制づくりを行う。

主な行事等

毎月の誕生日会/工作/調理活動/花見/いちご狩り(果物狩り)/BBQ/沢遊び/夏祭り/流しそうめん/運動会/スイカ割り/芋煮/ハロウィン/
クリスマス会/初詣/餅つき/豆まき/バレンタイン会/ひな祭り/進級パーティー